

2026年6月10日

投資家の皆さまへ

アムンディ・ジャパン株式会社

弊社ファンドの基準価額下落について

インドネシア株は、株価指数ベンダーであるMSCIが同国の株式持ち合い構造の不透明性などから主要な国際株価指数への組入れを見直す方針を2026年1月に明らかにして以来、軟調に推移していましたが、6月8日の市場ではいくつかの内外要因が重なり、インドネシア株、債券および同国通貨のインドネシアルピアが大きく下落しました。同日は前週末の米国株式の大幅下落を受けてアジア市場でも株価が大幅安となっており、また、インドネシア中央銀行の外貨準備が5ヵ月連続で減少していることが明らかとなったことで、通貨、債券も大きく下落し、株価の下落を加速させました。インドネシアルピアは4月から先週末まで対円で5%を超す下落となり、今週も1%続落となっています。インドネシアでは、政府の成長促進策に加えてエネルギー価格上昇を補填する補助金負担などによって財政赤字が拡大しており、一方で、貿易黒字も輸入品価格の上昇など交易条件の悪化で6年ぶりの低水準となっています。インドネシアは産油国ですが、国内の精製能力不足などで石油製品の輸入が増加しています。個別銘柄では、期待をやや下回る決算を発表していた同国最大の通信会社テルコム・インドネシアの株価が15%近く下落しました。同社は株主総会で大幅増配と自社株買いを決定しましたが、市場では材料出尽くしと受け止められた模様です。アムンディ・インドネシア・ファンドにおける同社株の組入比率は8%余りですが、その他の組入銘柄も通信や素材セクターなどを中心に幅広く下落しました。

このような状況を受け、以下の弊社ファンドの基準価額（6月9日）は前営業日比5%以上の下落となりました。

基準価額および前日比騰落幅・騰落率（2026年6月9日現在）

ファンド名	基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
アムンディ・インドネシア・ファンド（愛称：ガルーダ）	5,626	-343	-5.75

決算日に該当したファンドについて

- ・騰落率・騰落幅については、分配金を加算した基準価額を用いて計算した数値を表示しています。
- ・基準価額は、分配金落ち後の基準価額を表示しています。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

当資料に関してご留意いただきたい事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。また、投資信託は預貯金とは異なります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際は投資信託説明書（交付目論見書）・契約締結前交付書面をよくご覧ください。

<ご注意>

上記に記載しているリスクにつきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクは、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会、日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社（以下、弊社）が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想、意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。

<5562918>